

学習例会 “概念図の書き方”

石巻部S

■ 概念図とは?

- 山の地形を知るための田舎図であり、情報量が多い地形図から、主に、尾根線と水線(谷、沢など)とで、対象となる山域を立体的に捉えるものである。 → 山のデコボコがわかるか、が重要です。

■ なぜ必要か?

○ 自分にとっては

- 地形図(1/25000)を読図できたかの確認。
  - 登山しようとする山域の全体像をシミュレーションに把握できる  
山行中、現地での位置感覚 (うーん、もう1/2くらい歩いたかな?)  
トリアル時の対処 (こっちではなく、あちのルートへ逃げよう!)
- ↓  
安心、安全につながる!

読図できなければ  
概念図は書けない!

○ 第三者にとっては

- 登山概要を確認しやすい
    - 山行報告で、理解しやすい
    - 現地でのトリアルがあった場合のチェックがしやすい
    - 遭難によるチェックがしやすい
- リーダーがどれだけの山行を理解しているか

花の名前がわかればより  
親しみがわくおに、概念図  
が書けると、お山が好きになる!

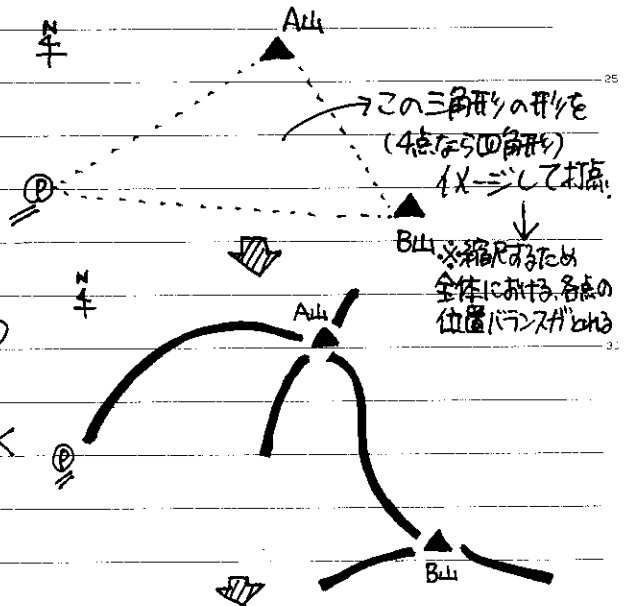
■ 書方

1. 主要なピーク、登山口を記入

- 3点以上位置決める
- 基本的に、北が上

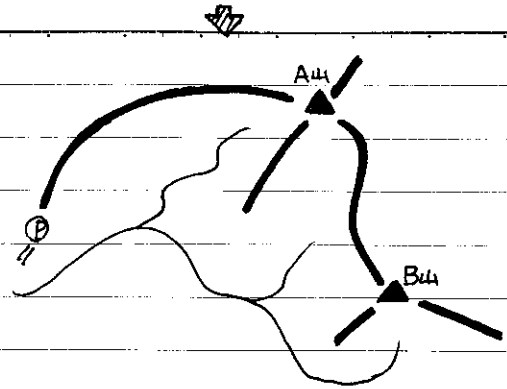
2. 尾根線を記入 ..... 太い実線

- ピーク(その付近で最も高い地点)から見ると、わかりやすい
- 細かく書きすぎない。大胆でOK



3. 水線を記入 …… 細い実線

- 谷, 沢, 川など対象
- ヒト・尾根と尾根の間には, 谷がある
- ヒト・林道は, 沢筋, その付近で  
低い地点にある場合が多い
- 地形図上, 河川表現ができていなくても  
明瞭な谷, 沢地形ならば, 記入すべし。



4. 記号を記入 (地形図の記号を入れる場合もあり)

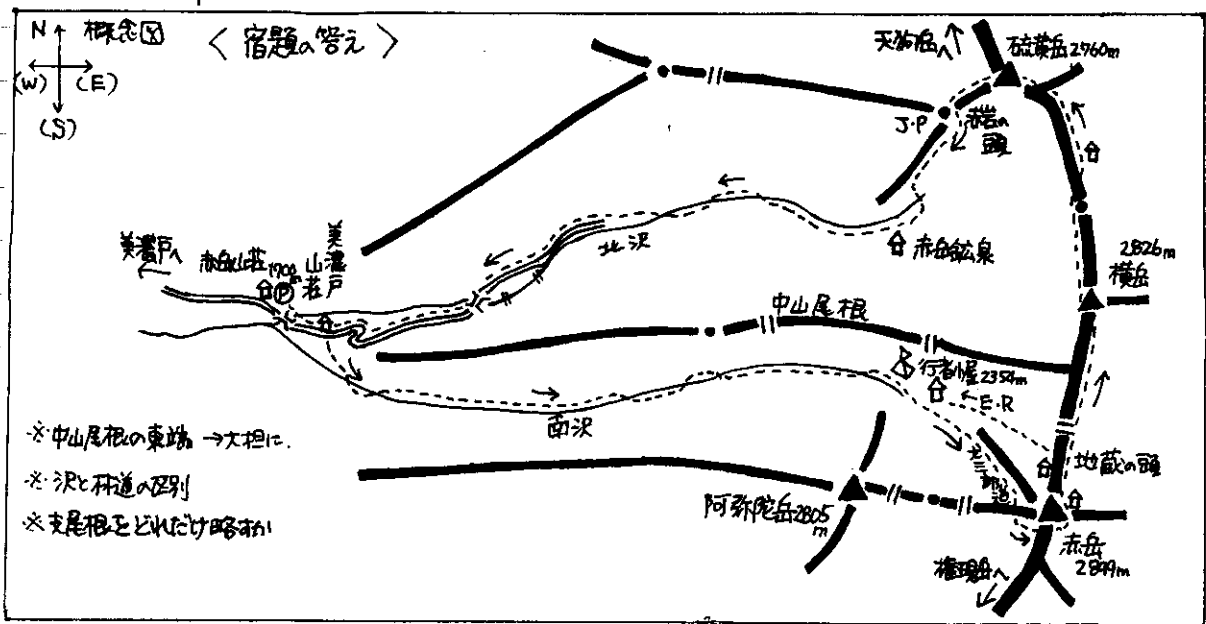
- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>—▲— } 頂上(山頂)</li> <li>(△, △)</li> <li>—●— } 小ピーク, 峰, 顕著な頭, コブ</li> <li>(○)</li> <li>—  — } コル, 鞍部, のこし, 峠</li> <li>———— 尾根, 稜線</li> <li>~~~~~ 河川, 沢, 谷</li> <li>上流 — — 下流 滝</li> <li>上 下 丸み 丸み 湖</li> <li>上 下 # # # 堤</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>合 山小屋 (合…無人, 合…有人)</li> <li>△ ティサイト (△, △…)</li> <li>----- 登山道</li> <li>==== 車道, 林道 ※細い林道は, 軽上山道と重複</li> <li>Ⓧ, ⊕ 駐車場</li> <li>⊗ 水場</li> <li>⌒ m 岩壁</li> <li>J-P ジャパンピーク, 尾根が分れるところ</li> <li>☉, ☽ 沼池, 湖</li> </ul> |
|---|---|

5.

- 名前, 標高, 交通機関を記入
- 宿泊地, 登山ルート, エスケポルト, 進む方向を記入
- 山行計画書の「行動予定」に記入されている  
スタートからゴールまでの地名はすべて記入

登山ルートの点線は,  
どちらが尾根の右か左か?  
沢の右岸か左岸かわかればいい!

マナー登山地, ルート  
簡易な縮尺がよい



※個人的に  
主線線はよく  
太くして描く